

令和2年度第1回定例会

日 時： 令和2年7月3日（金）午後2時30分から午後4時00分

場 所： 本館 閲覧室

出席者： （図書館協議会委員）委員7名  
（事務局）図書館長、図書館本館整備担当課長、  
企画運営担当主査、総務係長

---

会長 本日は委員全員が出席しているため、多摩市図書館協議会規則第4条により令和2年度多摩市図書館協議会第1回定例会を開催する。

事務局より配付資料の確認をお願いする。

事務局、図書館長より配付資料の確認。

会長 本日の議題、令和元年度多摩市立図書館事業評価について進めたい。昨年度ABC評価を行い、評価が上手にできるのかということが議論になった。昨年度は初回ということもあり、今年度もまずは引き続きやって、改めて評価の方法も含めて再度議論しようということで終わっていた。この点については、今年度もこの形でやることをご理解いただきたい。資料1-1-3の様式3について、様式の変更があり、昨年度は図書館の取り組みと自己評価が分かれていたが、今年度は一つの欄になっている。取り組みとして行っていることはわかるが、それに対する自己評価が見えてこないと思ったため図書館長に質問をしたことがあった。その点をご紹介いただいた上で進めたい。

図書館長 基本的には昨年度と同様な形で事業評価を行うこととした。様式3については、昨年度は図書館の取り組みと自己評価それぞれで欄を分けていたが、同じ内容が繰り返しているとのことをご意見をいただき、改善をはかって欄を一つにまとめたものであった。反省点として評価の部分が明確に記載されていないところもあったため、評価のやり方については今年度を終えた段階で再度ご意見をいただき、検討していきたい。

会長 様式3にある「令和元年度の目標事業」の基本目標(1)から(5)までの5つの目標について、確認していきたい。まずは、基本項目(1)「だれもが使える図書館」から、皆様のご意見をうかがいたい。

委員 乳幼児を連れた保護者への配慮について本館再整備計画に盛り込まれたこと、多文化サービスの充実について日本語学習資料コーナーを設置し、外国語資料と日本語資料を一緒に置いたことは評価できる。積極的な取り組みが見られたことから、A評価でよい。

副会長 多文化サービスの充実で、日本語学習資料コーナーを本館に作ったと

あるが、関戸図書館ではどうか。関戸公民館には国際交流センターがあり、利用者に近いところにある関戸図書館に置くことは検討したのか。

図書館長

日本語学習資料コーナーを新設するというので、まずは本館に設置した。今後利用状況を見ながらさらに広げていくことも考えられるが、各館に配置するにあたっては既存の書架や配架を見直す必要もあり、関戸図書館については今後検討したい。

会長

日本語学習資料コーナーを本館に設置したというだけでは、設置してどうなったのかがわからず、評価しづらいと感じた。関戸図書館にそういう利用者がいらっしゃるのであれば、その点についても考えた上で実施したのかどうか分かれば評価できると思う。

副会長

ティーンズのグループ学習スペースについて、関戸図書館の学習室の一部を開放したとあるが、具体的な場所はどこか。一般利用者にもPRしたとあるが、問題はなかったのか。

図書館長

昨年度関戸図書館では、7月20日から7月28日の夏休み限定で、活動室を一般利用席とグループ利用席に分け、活動室の半分程度のスペースをグループ学習コーナーとした。評価がしっかりと記載されていないとの会長からのお話もあったが、この利用状況については利用者アンケートを取り、内部で評価を行った。期間中、一般利用席は継続的に利用があったが、グループ利用席は利用のない時間帯もあり、平日・土曜日よりも日曜日の利用が多かった。中学生と一般利用者に行ったアンケートでは、中学生からは「夏休みの後半も設置してほしい」「静かに勉強できた」「話しながら利用できて使いやすかった」というご意見をいただいた。また一般利用者からの苦情はなく、おおむね受け入れられていたという印象であった。

会長

グループ学習スペースの開放は良い取り組みであったが、具体的にどのように利用されていたのか。今後も続ける意義があるかどうか、図書館として評価してもらいたい。

図書館長

利用状況を見ると、グループでの学習というよりは、夏休みの宿題を友達同士で静かに行っているという印象であった。これを継続するかどうかということについては、利用実態からすると、あえて分ける必要はないのではないかという結果であった。

副会長

本館のティーンズコーナーは一般利用者と離れており、グループで話をして学習している様子を見て、良いと思った。関戸図書館では、子供たちは静かに学習をしていて、一般利用者がそばにいるなかで気を遣ってしまい、話をしてよいという呼びかけはしていても、図書館側の意図がちゃんと伝わっていなかったのではないかと感じた。

- 図書館長 実施にあたっては、事前に学校でも周知し、一般利用者向けの注意喚起などもして、入念に準備をして行った。結果として、今回のような使い方であればグループ学習コーナーのスペースは必要ないのかもしれないが、既存のスペースを上手く活用して利用してもらうための新しい試みとしては、図書館の職員は努力して行ったと思う。
- 委員 乳幼児を連れた保護者への配慮について、様々な工夫がされていたのは評価できる。図書館の活動について、地域の保育園などにもっと情報をながしてほしい。年に2回の会議等で情報は頂けるが、季節ごとや月ごとなど、もう少し密に連携ができるとよいと思う。そうすればもっと利用者も増えて理解が深まり、良くなると思う。
- 委員 基本目標（1）「取り組み1」の中で、「検討する」という言葉が使われている。検討の意味というのは、検討するだけで止まってしまうのか、それとも年度内に実施することが前提で検討するということなのか、はっきりさせたほうがよい。ここに記載されている3項目とも、検討して実施しているのでよいと思うが、「検討する」というと検討するだけでも達成してしまうので、気を付けてほしい。「取り組み2」の若年世代の図書館利用の促進については、昨年度の評価時にティーンズが参加できるイベントを検討するとあったが、それについて記載がなく、どうなったのか。また、日本語学習資料コーナーを設置したことによってどのような効果があったのかを分析、評価し、成果指標を示すことが大切である。事業をしたことによってどんな成果や効果が生まれたのかという書き方をしていただくと、分かりやすくなると思う。
- 委員 取り組みを読んでいて、何をやったのかは書かれているが、そこからどう評価したのか、図書館の自己評価があまり書かれていないため、分かりづらい。何が足りなかったなど具体的な記載があれば、評価しやすい。
- 委員 図書館のティーンズ向けの展示内容は、学校司書が参考にしている。市の図書館だけでなく学校図書館も良くなってくると、本が好きな子を増やすのによいと思う。職場体験は、今年度は中止になったが、生徒が図書館で職場体験をすることにより、学校図書館の運営にも生かせるなどの効果があり、評価できる。
- 委員 イベントの開催の方法や取り組みをどう広げていくのかがポイントなのではないか。
- 会長 では次に、基本目標（2）子どもへのサービスの充実について、皆様のご意見をいただきたい。
- 委員 新型コロナウイルス感染症拡大防止に関して、本の貸出しや返却についての対応方法は各学校に任せられている。図書館はどう対策している

のかなど、学校図書館の参考になる情報は、図書館から情報発信をお願いしたい。

副会長           アクションプランを作成することで、各所での取り組みが見えて良いと思う。アクションプランの事業に市民ボランティア連絡会が関わっているが、計画の策定の時だけでなく、アクションプランを実際に進めていくところでも関わりが見えるように、情報提供をしてほしい。

図書館長       アクションプランは、関係する部署が、計画を進めていくために行ったことの振り返りをして、次年度にどう続けていくかを検討する目的で作成している。冊子を作るにあたって、皆で意見交換をするというものではなく、関係部署が振り返りをした結果をまとめて皆さんにお示ししているものである。

会長            アクションプランを中心とした行政と市民ボランティアのやりとりの中で、お互いがその位置づけを理解できるように、情報共有しながら活動に取り組んでいただきたい。

委員            取り組み内容に「第三次計画の施策実現に向けての情報収集、情報共有のために全小中学校へアンケートを依頼した」とあるが、この結果はアクションプランに反映されているのか。

図書館長       子どもの読書活動推進計画の中に、小中学校の要望を受けながら連携して取り組みを進めるということが盛り込まれており、まずは情報収集をするということで、学校に調査を行ったのが昨年度である。アンケートを依頼し、その後回答をしていただいた。色々な項目について回答をいただき、それを踏まえてこれからどう連携していくかを考えるための基礎的な資料としたものである。

委員            基本目標（２）についてはおおむね良いと思う。せっかくの取り組みなので、現場にいる者として、その内容が活用され具体的な行動に繋がるとより良いと思う。昨年度の図書館協議会で「もりのへなそうる」の話をしたが、特に何も言わなくても保育園で職員の中から「もりのへなそうる」の読み聞かせをするという提案が上がり、ちょっとしたことで職員の意識付けになっていると感じた。図書館や児童館のおはなし会に行くなどの積み重ねも大切であり、図書館で行っていることが「見える化」されると、これからもっと良くなっていくと思う。

委員            図書館が市内小中学校へアンケートを実施したり、ティーンズの企画展示をしたりするなど、積極的に働きかけをしたことは評価できる。

会長            では次に、基本目標（３）市民や地域に役立つ図書館について、皆さんのご意見をいただきたい。

委員            ビブリオバトルでは、中高生が本の魅力などについて情熱を持って発表していた。本の福袋も高く評価できる。LLブックや大活字本、マル

チメディアデイジーなどのセットの貸出しも、社会教育施設として図書館が行うにふさわしい事業であり、高く評価できる。

委員                    ビブリオバトルについて、昨年度は「7 読書活動に関心を高めるための事業の実施」の項目に入っていたが、今年度は「6 読書活動振興のためのイベントの開催」の項目に入っている。昨年度は「6 読書活動振興のためのイベントの開催」は図書館主催イベント、「7 読書活動に関心を高めるための事業の実施」は他団体との協力イベントと区別されており、昨年度と今年度の整合性がとれていないように見えるが、なにか項目を変えた理由があるのか。また、一日図書館員の受付方法を先着順から抽選にし定員を増員しているが、なにか不都合があったのか、どんな効果を狙ったものなのか、伺いたい。

図書館長              この項目の記載については明確な分け方をしているものではなく、昨年度を踏まえてのまとめ方はしていない。今年度はこのような項目立てとしたが、計画を作る時から項目立てはしっかりしていかないといけないと思う。一日図書館員については、ここ何年かで申込者が増加してきており、公平性を保てる受付方法に改善をした。また、人気のあるイベントになってきたため、できる限り希望者を受け入れるために定員を増やしたものである。

委員                    「5 読書活動に取り組む団体の支援」について、学校図書館司書が業務の中で丁寧に対応していただき感謝をしており、学校としては支援をたくさんいただいているありがたい。要望があるとすれば、人気のある新しい本は予約が多くなかなか順番が回ってこないの、学校の方にも回ってくるとありがたい。

委員                    「8 地域資料の活用による地域文化の継承」の展示はとても楽しく、素晴らしい取り組みだったと思う。

副会長                    アイスランドのテーマ展示の中から、とても良い本に出会えた。1冊の本に出会うことで、そこからまた活動が展開していく。今望まれているテーマを展示すること、連携してテーマ展示を豊かにしていくことは大事なことだと思うので、高く評価している。

会長                    こうして皆さんの意見を出し合っ気づくことを、ぜひ図書館の次の活動に繋げてほしい。目的は、事業評価そのものではなく、図書館活動をより良いものにしていくことなので、それを見失わないようにしたい。また、事務局への提案だが、この自己評価で用いられている表現では評価がしづらい点が散見される。表現を変えられるところは変え、その結果を書面で連絡いただき、私たちの意見を述べる機会を再度設け、次の協議会に繋がたいと思うがどうか。

図書館長              自己評価の表現を変えることについて、それをまとめたものをまた皆

さんにお示しするには、スケジュール調整や各館との調整が必要である。どうお示しできるかは、会長に個別に相談させていただきたい。

会長           では、基本目標（４）しらべるを支え、つながる図書館について、皆さんの意見をいただきたい。

委員           各課の取り組みに連動した展示を連携して実施したり、当該課の担当者に推薦図書や企画の意図を聞き取って展示に生かしたという内容を見ると、良いと思う。

委員           地域課題解決の支援について、市民への情報提供だけでなく、庁内各課に対し地域課題に対する図書館の役割についての認知を高めることは重要なことであり、今後もぜひ進めていってほしい。

副会長         連携企画展示で、担当各課の課名はわかるが、それぞれの課で何をテーマに展示をしたのかわからない。どういう内容で何をしたのかわ見えるとイメージがしやすく、評価しやすい。

会長           では、基本目標（５）弾力的な管理・運営を含めて、他の目標についても、皆さんのご意見をいただきたい。

委員           「新本館再整備に向けて業務分担や職員体制の見直しを検討したが、実施にはいたらなかった」というところはマイナスである。

会長           この点について昨年度は、色々な課題を抱えているということを図書館は認識しており、図書館の自己評価はB評価であったが、その中でも良くやっているという点を評価し、私たちはA評価とした。

委員           昨年度は、実施の体制を決めたところが良かった。業務分担や職員体制の見直しを検討したが実施にいたらなかったことは、設計の変更の問題と関係があるのか。

図書館長       中央図書館の開館にあたっては、開館時間や休館日を決めていかなければいけない。土日は職員の人数が少ない体制で運営している。そういった勤務体制の基本的な部分を平準化して変えていけないかと検討に入ったが、なかなかうまく進まなかった。段階を踏んで、最終的には館の運営に大きく関わることを決めていけないといけないが、最初の部分の検討までしかいかなかったため、図書館の自己評価としてはB評価とした。

委員           蔵書の適正管理で、貸出冊数の上限の見直しを行ったということはプラスの評価ができるが、全体として考えるとB評価である。

副会長         職員の内部研修で行った読み聞かせ講座の講師は、内部の職員か、外部の講師か。

図書館長       職員が講師となり、他の職員や専門スタッフに向けて行った。

副会長         ボランティア活動の促進について、情報収集のために行った北区立中央図書館への視察は、何を参考にするために行ったものか。

- 図書館長 市民との協働の参考にするために視察を行った。区民の会の運営方法、予算、事務のスペース、会員の構成、区民の会と職員との関わり方、役割分担などについて話を聞いた。
- 会長 北区の視察について、情報収集したという記載しかないため、評価することは難しい。
- 会長 ここで提案させていただきたいが、委員の皆さんには、今日の意見交換や資料を参考にし、伝えたい意見は書面にて提出を願いたい。図書館には、私たちが評価できるような情報を提供いただきたい。情報の提供方法については事務局と協議した上で、改めて皆さんの意見を伺いたい。次回の8月21日の図書館協議会にあたっては、皆さんからいただいた意見を事前に示せるようにしたい。
- 会長 続いて、報告事項1「多摩市立中央図書館の整備について」、事務局より報告をお願いします。
- 図書館本館  
整備担当課  
長 報告事項1「多摩市立中央図書館の整備について」、資料1-3と資料1-5をもとに説明させていただく。
- 技術的・専門用語な用語も含まれているので、質問があったらお願いしたい。
- 前段として、5月に情報提供の資料をお送りしたが、その内容としては、中央図書館の設計業務が3月で終わる予定であったところ、5月まで延長したというものであった。なぜ遅れたのかというところの説明をさせていただきたい。
- 通常、建築物を建てる際は、設計を終えて、建築確認の申請を行い、確認済証というものをもらってからでないとは着工することができない。今回、指定確認検査機関に対して建築確認の申請を行ってきたが、設計期間の終盤になって、指定確認検査機関と設計者との間で高度地区に係る見解が異なることが判明した。高度地区というのは、今回の中央図書館の建設予定地では23m第二種高度地区と指定されており、建物の高さを23m以下に抑えること、そして、北側境界線付近では一定の斜線規制があるというものである。このうち、23mという高さは超えていないものの、北側境界線付近の斜線規制に建物が当たってしまっていた。そのため、設計内容を修正する必要性が生じた。設計内容の修正には時間を要するため、3月19日の契約期間満了には間に合わない。そこで、5月まで契約期間を延長し、設計内容を修正することにした。その後、設計内容の修正は順調に終わり、確認済証もいただくことができたため、5月末をもって設計は完了した。
- 次に資料1-3について、説明したい。今回設計内容を修正したのは、屋根の形状と2階の床の2つである。資料にあるレンガ坂から見たイ

メージと敷地東側から見たイメージ図のビフォーアフターをご覧いただければお分かりいただけると思う。また、2階平面図の抜粋を載せているが、市民活動室(1)という場所が9㎡縮小され、90㎡となった。この部屋はもともと定員60名の市民活動室として予定しており、面積縮小後も60席を確保している。しかしながら、コロナを前提とした定員設計にはなっていないため、コロナの状況が今後も続けば座席数を大きく減らさざるを得ない。屋根伏図については、屋根の形状が大きく変わったこと、また太陽光パネルを載せる想定をしているが、その枚数も減った。大きな変更点としては以上である。

なお、コロナの影響を受けて市民からは、中央図書館を建設すべきなのかどうかについて、様々なご意見をいただいた。公共工事については、資材の不足など様々な理由で停止しているところもあるが、国交省は経済対策という意味で工事を進めたほうが良いと言っていることもあり、我々としても非常に悩んだ。中央図書館の建設は、パルテノン多摩、多摩中央公園の改修、レンガ坂の改修とセットになって動いているプロジェクトである。パルテノン多摩については、本契約はもう終わっている。パルテノン多摩の工事と中央図書館の工事は連携して動かさないといけない部分もあり、市として検討したなかで、多摩センター駅付近の都市計画事業については、未来への投資という判断をし、予定通り続けていくこととした。そのため、現在建設工事に向けた事業者の選定についても動き始めているところである。

次に資料1-5について説明させていただきたい。設計内容が大きく変わった部分は先ほどの資料1-3で説明したが、資料1-5はこれまでの実施設計を全体としてまとめたものである。まず中央図書館がZEB（ゼブ）Ready（レディ）と認められたことについて説明したい。第三者機関によって設計書を評価していただいたところ、BELS評価という基準で消費エネルギーの60%を削減できると認められた。太陽光発電による創エネ分が5%分あるので、建物単体としては55%分の削減ということになるが、建物単体で基準となる消費エネルギーから50%以上を削減すると、ZEB（ゼブ）Ready（レディ）と認められるため、ZEB（ゼブ）Ready（レディ）図書館と記載している。

その他、防災や、バリアフリーについても触れている。4ページ以降は、各階ごとの説明をしている。5ページ目にあるのは2階のイメージで、上段は「子ども開架とサテライトカウンター」という広場系開架にふさわしい場所のイメージであり、開放的な雰囲気仕上がっている。また、下段はもりのへなそうるの部屋のデザインイメージである。デジタルサイネージやへなそうるのイラストを掲示している。



6 ページの上段は、設計変更した屋根形状を反映したラーニングコモンズエリアのイメージ図である。上部に窓があり、明るい空間に仕上がっている。この資料についての説明は以上である。

今後は、8月までに事業者の入札を終え、9月議会で契約議決、さらに10月から着工という形で、本工事は10月からスタートする予定である。市の業務については、様々な事業を停止したり、先送りしたりと、コロナの影響を大きく受けている。また、来年度以降もどのような状況になるのかわからず、先行きが見えない状況ではあるが、中央図書館整備を我々としては予定通り進めていく。

なお、本工事は10月から着工するが、現在中央図書館の敷地には、蒸気管、ガス管、電気、水道など様々な配管が埋設されており、本工事前の埋設されている多くの配管を図書館の敷地外へ移設しないといけない。そのため、7月6日からはいったん中央図書館の敷地周辺エリアを封鎖して、配管移設工事を行う。公園内に多くの看板を設置して周知を図っているところである。ご都合がよければ一度見ていただきたい。

会長                    これについて何か質問はあるか。(質問なし)

会長                    続いて、報告事項2「学びあい育ちあい推進審議会の報告について」委員より報告をお願いしたい。

委員                    ポイントを絞ってご報告する。資料にある4回の定例会のうち、2回は書面開催であった。令和2年2月定例会は、定足数不足にて流会となり、報告会として行われた。令和元年度の最終回でもあり辞任する委員がいた。その中の委員が令和元年度都市社連協表彰者として3ブロックから選出され、表彰されることとなった。また、第5期の新しい委員が一人決まった。4月定例会は、急遽開催ができなくなり、書面での開催に切り替えとなった。資料はあとでお読みいただきたいが、教育長挨拶や自己紹介はなく、会長・副会長もいまだに決まっていない状況である。書面での委員の意見や質問は、非常に少なかった。5月定例会も書面開催となった。議題についての厳しい意見も見られた。

会長                    このことについて、なにか質問はあるか。

副会長                書面開催というのは、どのようなものだったのか。

委員                    議題についての資料が各委員に送られ、それに対して、意見や質問を提出する形である。

副会長                それは、一方通行なものなのか。

委員                    双方向なものである。議題に対し、こういうことが問題ではないか等の意見を言う。それに対して、事務局からの回答がある。例えば、多摩市生涯学習推進計画の「健幸都市」という漢字は当て字を使っているが、

これに対して、委員からは良くないのではないかという意見が出た。これについては解決していないが、決して一方通行なものではなく、双方向なものである。

会長 書面開催についての様子も教えていただいた。他になにか質問はあるか。(質問なし)

会長 次回の協議会までに、皆さんのご意見をいただくご協力をお願いしたい。いつまでにご意見をいただくかなど、事務局と協議の上、できるだけ早くお伝えすることとしたい。

本日の予定はすべて終了したため、令和2年度多摩市図書館協議会第1回定例会を閉会する。